

平成 30 年度 日本原子力学会 北関東支部 講演会 実施報告

開催日時：平成 30 年 8 月 31 日（金）14:00～16:25

開催場所：東海村産業・情報プラザ（アイヴィル『iVil』）多目的ホール

平成 30 年度の北関東支部講演会を平成 30 年 8 月 31 日（金）に東海村産業・情報プラザ（アイヴィル『iVil』）多目的ホールにて開催いたしました。当日は、91 名と多くの方にご参加いただき、誠にありがとうございました。

講演会のプログラムは以下のとおりです。

- ① 福井 雅裕 氏 [日本原子力研究開発機構 核燃料サイクル工学研究所]
プルトニウム廃棄物処理開発施設 第 2 難燃物焼却設備の安定運転と維持管理に係る改善
- ② 青柳 龍彦 氏 [日本原子力研究開発機構 大洗研究所]
核燃料物質使用施設の高経年化に係る安全性評価手法の開発
- ③ 岩井 淳 氏 [株式会社 千代田テクノル]
ガラス線量計による放射線被ばく線量測定技術の構築とサービス展開による
原子力産業および放射線医療への貢献
- ④ 宮 健三 氏 [東京大学名誉教授，日本保全学会理事長，原子力国民会議代表理事]
日本の将来に向け、原子力の火を灯し続ける

福井先生、青柳先生及び岩井先生のご講演会では、過去の技術功労賞の紹介として、それぞれ第 13 回、第 14 回の受賞案件の内容についてご講演いただきました。また、宮先生には、原子力業界を取り巻く環境についてご講演いただき、原子力業界の世間でのあり方について考える良い機会になったと思います。北関東支部の学会員のみならず聴講者にとっては有意義な機会となりました。